

(単位：千円)

| 産業観光局予算要求の内容                              |  |   |       | 検討が必要な事項   |
|---|--|---|-------|--|
| 事業名                                       | 事業概要   | 成果目標                                    | 要求額   |  |
| 総合観光案内所の整備計画策定事業<br><br><産業観光局>           | 入洛観光客数が増加する中、現在、JR京都駅内に本市と府が各々設置している観光案内所では、外国人を含む観光客への対応が不十分であることから、観光客の利便性の向上を図り、「5000万人観光都市・京都」にふさわしい総合観光案内所を、京都駅及びその周辺に、平成19年度に府市共同で整備するために必要な調査を実施し、運営手法も含めた整備計画を策定する。  | 観光案内基盤の機能向上により、外国人観光客を含めた観光客の利便性の向上を図る。 | 1,000 | 公民等役割分担の検討<br>既存施策との整合性検討<br>事業内容・実施手法の検討<br>後年度財政負担の検討<br>〔市、府、観光協会などで構成するワーキンググループにおいて、引続き検討を進める。〕 |
| 産業技術研究所の立地的統合に向けた基本計画の策定事業<br><br><産業観光局> | 産学公が連携した産業振興施策を推進し、「ものづくり都市・京都」の活性化を図るため、別々に立地している工業技術センターと繊維技術センターを京都市リサーチパーク地区（以下「KR P地区」）内に集約し、新たな技術分野の開拓や異業種間交流の研究に向けた機動的な研究体制の構築など、本市の産業技術支援の核となる施設として機能強化を図るとともに、機器類の共同化や事務の一元化による効率的な運営を図る。<br><br>平成18年度は、平成17年度に作成する基本構想に基づき、基本計画を策定する。 | 平成21年度に開所                               | 9,800 | 公民等役割分担の検討<br>既存施策との整合性検討<br>事業内容・実施手法の検討<br>後年度財政負担の検討<br>〔必要性を検討のうえ、既定経費等で対応する。〕                   |

この一覧表は、事業実施の意義は認められるものの、「検討が必要な事項」欄に記載した課題があるため、財政非常事態の下では、限られた財源を他の事業に振り向けざるを得ず、予算措置を見送った事業を掲載したものです。